

MEGASOFT®

Windows Server対応 オールインワンFAXソフト

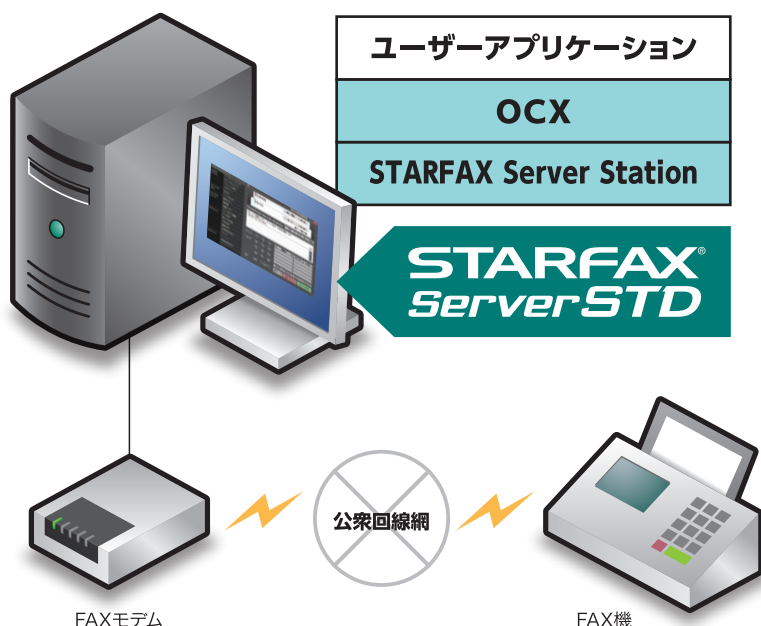
スターファクス サーバー エスティーディー

STARFAX® *ServerSTD*

専用UIを標準搭載し、ユーザープログラムと連携可能な
最大2回線対応FAX通信ソフト

- 2回線対応
- 誤送信防止
- 同報送信
- 予約送信
- メール転送・印刷

STARFAX® Server STD

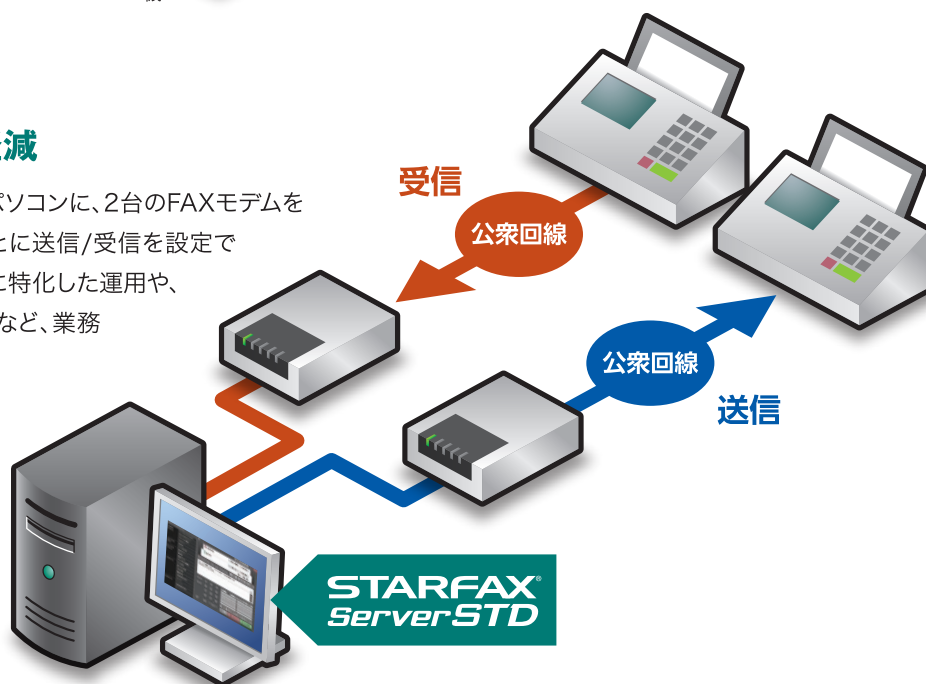


STARFAX Server STDとは

「STARFAX Server STD」は、Windows Server OSに対応し、最大2回線まで制御可能なオールインワンFAXソフトです。ユーザープログラムから出力した帳票や図面を直接FAX送信することや、送受信記録などの管理が可能です。また、同一PC上で動作する専用UI「STARFAX Server Station」が付属。1台でFAX管理、システム連携もできます。

2回線制御で送受信の混雑を軽減

STARFAX Server STDをインストールしたパソコンに、2台のFAXモデムを接続すれば2回線同時に運用が可能。回線ごとに送信/受信を設定できるので、2回線とも送信専用として送信業務に特化した運用や、一方を送信専用として回線の混雑を回避するなど、業務の状況に合わせた設定・運用が可能です。



STARFAXを活用してカスタマイズ

ユーザープログラムとの連携を行うActiveX(OCX)コンポーネントを標準で付属。Visual BasicやVisual C++、ExcelのVBAからも利用でき、ActiveXを利用できる言語であればどのような言語でも使用できます。ユーザーアプリケーション上に用意した“FAXボタン”によって、原稿と宛先情報をSTARFAX Server STDに引き渡し自動送信させるなど、STARFAX Server STDを活用したFAXシステムを手軽に実現。汎用の業務ソフトへのFAX機能の追加にも有効です。

※STARFAX2005以降で作成されたユーザープログラムはそのまま利用できます。
それ以前のOCXを利用して作成されたプログラムについては、一部修正が必要になる場合があります。

OCXサンプルプログラム &リファレンスガイド付属

FAX送信、原稿ファイル加工、通信記録の参照などOCXコントロールを利用できる環境で実行できます。

※サンプルプログラムはVisual Basic 2005、Visual Basic 6.0日本語版 SP6で作成

操作性に優れた専用UI 「STARFAX Server Station」でFAX業務を効率化

クライアントの操作画面「STARFAX Server Station」を標準搭載。

STARFAX製品の操作性を継承しており、ドラッグ&ドロップや印刷操作からの原稿セット、短縮パネルからのワンタッチダイヤルなど、迷うことなく直感的な操作が可能です。



大量送信される方に 便利な3つの機能

順次同報送信

一度に1万件までの送り先が登録できる「同報送信」。送り先は電話帳からクリックして選択するだけで簡単にセットできます。

予約送信

送信する時間帯を指定して、通信が立て込む日中の送信や、深夜の送信を避けることができます。

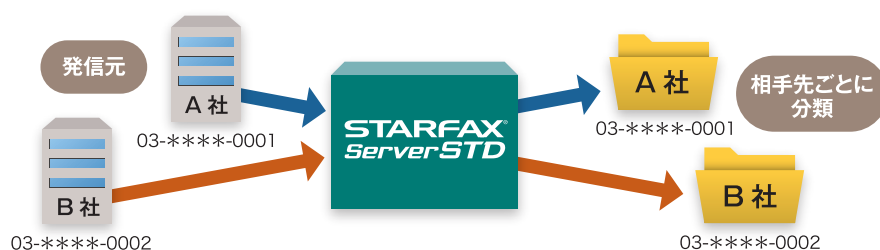
割り込み送信

同報送信などで大量のFAXを送っている最中でも、同報送信処理を中断せずに、急ぎのFAXを優先させて送信できます。

ナンバーディスプレイ対応

ナンバーディスプレイ対応により、受信したFAXの送信元番号情報を取得することができます。発信元の電話番号を利用した受信FAXの分類や、FAXの自動返信などへの活用も可能です。

※ナンバーディスプレイサービスの契約および対応モデムが必要



プログラム不要！ 便利な転送・印刷機能

受信したFAXを別のFAX番号やメールへ転送、指定したプリンタで自動印刷、PDF形式で自動保存などの受信後の操作を、プログラムをすることなくSTARFAX Server STDの設定だけで自動的に実行できます。

また、設定や管理がとても簡単なので、転送先メールアドレスの変更/追加などにも素早い対応が可能です。

転送印刷機能

- ・別のFAX番号に転送
- ・指定したメールアドレスに転送
- ・指定したプリンタで自動印刷
- ・PDF形式に変換して指定フォルダに自動保存

STARFAX Server STDを集中管理

送信エラー時の自動再送信

相手先が話中などで送信にした場合、設定した回数に応じて自動的に再送信します。 ※最大9回まで設定可能

障害時の自動メール通知

サービスの動作状況をメールで通知。万が一のトラブル時にも素早く対応できます。

いつでも管理画面で状況確認

STARFAX Server STDのログ管理画面から動作状況やエラーの詳細、送受信の記録をいつでも確認できます。

ログの自動削除を細かく設定

送受信した結果の一覧とFAX原稿の画像ファイルの保存期間を別々に設定。

JPEG・PDFファイルを自動作成

送信／受信／未送信のFAX原稿をJPEG形式／PDF形式に自動的に変換して保存します。

定期的にモデムを初期化

一定期間使っていない回線のFAXモデムをチェックして初期化。FAXモデムによるトラブルを軽減します。

STARFAX® Server STD

■主な機能

送受信共通	2回線対応 サービス起動 送受信結果のCSV出力/印刷
送信	順次同報送信(1万件) 予約送信(開始時刻指定/時間帯指定) 割り込み送信 送信FAXの自動メール転送 エラー時の自動再送信 Fコードによるパスワード付き送信 不要白紙部分のカット機能
受信	自動メール転送/自動印刷/自動FAX転送/自動PDFファイル保存
FAX原稿	A3/B4/A4/B5/A5 送受信FAXのPDF、JPEG、BMP、TIFF形式での保存 FAX原稿への書き込み ノイズ除去、傾き補正
送付状	STARFAX送付状/ワード送付状 オリジナル送付状作成機能 複数の差出人情報を切り替え可
電話帳	複数の電話帳を作成可 電話帳のグループ/50音表示 Excel/CSVの電話帳取り込み

■動作環境

対応OS	Windows Server 2025(Ver.4.00以降で対応) Windows Server 2022(Ver.3.00以降で対応) Windows Server 2019(Ver.2.00以降で対応) Windows Server 2016/2012/2012 R2/2008/2008 R2(64bit) Windows 11(Ver.3.00以降で対応) Windows 10/8.1/8/7 ※各日本語版に対応 ※64bitOS上では、32bitアプリケーションとして動作 ※Windows 11/10/8.1/8/7 上ではデスクトップアプリとして動作
CPU/メモリ	OSが推奨するプロセッサ・メモリ以上
ハードディスク	200MB以上 ※運用時は蓄積するFAX送受信原稿分(平均的なA4サイズ原稿1ページで80KB程度)の空き容量が必要
FAX原稿の ファイル形式	TIFF(Packbits・JPEG・G4・ClassF・CCITT G3 MR/MH・修正CCITT MH圧縮 他) .JPEG/.TXT/.BMP/.PCX/.DCX ※STARFAX Server EX付属のプリンタドライバを使用することで他ファイル形式も利用可能
FAXモデム	G3規格に対応したFAXモデムが必要 ※FAXモデムのドライバーが使用パソコンに対応していること ※多回線で使用する場合は、使用回線分のRS-232C接続のFAXモデムと増設用ボードが必要

体験版

製品版と同じ資料や機能が収録された、STARFAX Server STDの体験版をご用意しています。
体験版のご請求やお見積もり、製品についてのお問い合わせは、
下記製品ホームページからお問い合わせください。

※パソコンや電話回線等は、お客様でご用意ください。

■体験版収録内容

- STARFAX Server STDセットアップディスク
- セットアップマニュアル
- STARFAX Server Station操作マニュアル
- サンプルプログラム各種
 - ・Visual Basic 6.0用
 - ・Visual Basic 2005用
 - ・Visual Basic 2008用
 - ・Visual Basic 2010用

製品情報

本製品の詳しい情報などはホームページをご覧ください。 <https://www.megasoft.co.jp/starfaxserverstd/>

● STARFAX はメガソフト株式会社の登録商標です。 ● カタログ記載の社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。 ● 記載内容は予告なく変更される場合があります。

使いやすいさと信頼性

メガソフト株式会社

〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-2 梅田センタービル11階

<https://www.megasoft.co.jp/>